

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	地域に密着した医療サービスの提供	コード	作	役職	病院総括事務長
		04-06-24	成	氏名	植田 明彦
			者	電話	0869-72-1111
		このシート作成に要した時間		2.0 時間	

この施策の アピール ポイント	さつき苑を含む3病院は平成27年度から、公営企業法の全部適用となったことで、3病院の特性を活かし、公立病院の使命でもある休日、平日の夜間診療をはじめとする救急医療体制を構築し、安全で安心な医療を提供いたします。また、家庭と病院の中間的な役割である老人保健施設さつき苑のサービスの向上を図ります。
-----------------------	---

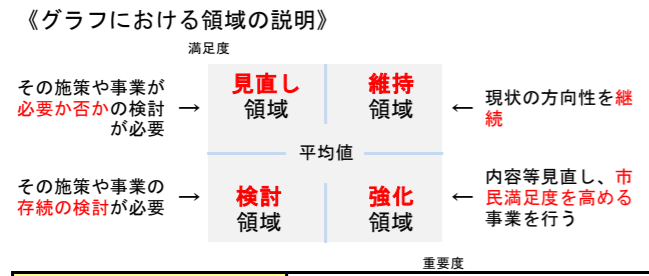
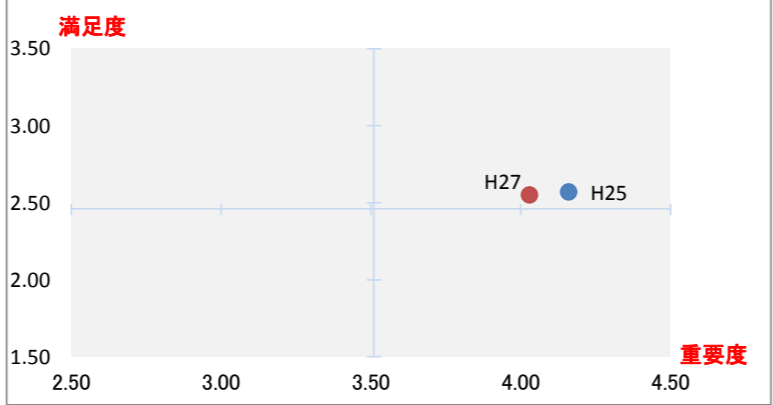
この施策の 平成27年度の 施政方針	市立3病院と備前さつき苑は、行政をはじめ、医療、介護、福祉機関との連携を図り、市民のニーズに合った医療、介護サービスの提供を行ってまいります。また、27年度から病院事業は、公営企業法の一部適用から全部適用へ移行し、病院事業管理者のもと、各病院の特色と機能を生かした運営を行い、経営の効率化、経営基盤の強化を図ってまいります。
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	「安全・安心」
	基本計画 (中項目)	「誰もがいつまでも安心して暮らせるまち」
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	地域住民の方々に安全で安心な医療を提供する。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	市立3病院の機能分担による経営の効率化を図り、持続可能な上質な医療体制の転換が求められている。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療スタッフの充実・人材育成</li> <li>救急医療体制の充実</li> <li>地域医療連携の推進</li> <li>安定した病院経営の推進</li> <li>在宅復帰支援の充実</li> </ul>	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		4.16	4.03
満足度 (%)		2.57	2.55



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民の期待は若者も安心して暮らしていくためにも、産婦人科、小児科の創設を望む声が根強い
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H25	H26	H27		H28	H29
100床当たりの医師数	目標	人	12.0	12.0	12.0	H28	12.0
	実績	人	10.6	10.2	10.9	H32	12.0
	達成率	%	88.3	85.0	90.8	H34	12.0
	ベンチマーク		7.6	7.5	7.4	前年度全国自治体病院(50床以上100床未満)平均	—
参考指標① 経常収支比率	目標	%	100.0	100.0	100.0	H28	100.0
	実績	%	98.8	100.0	102.2	H32	100.0
	達成率	%	98.8	100.0	102.2	H34	100.0
	ベンチマーク		97.9	97.7	98.5	前年度全国自治体病院(50床以上100床未満)平均	—
参考指標② 病床利用率 (一般病床のみ)	目標	%	90.0	90.0	90.0	H28	90.0
	実績	%	81.0	74.1	77.5	H32	90.0
	達成率	%	90.0	82.3	86.1	H34	90.0
	ベンチマーク		69.3	68.1	66.9	前年度全国自治体病院(50床以上100床未満)平均	—
参考指標③ 救急搬送患者の受入割合	目標	%	70.0	70.0	70.0	H28	70.0
	実績	%	71.9	66.7	65.6	H32	70.0
	達成率	%	102.7	95.3	93.7	H34	70.0
	ベンチマーク		71.1	71.1	71.1	備前市人口/管轄内人口×100	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
和気医師会・保健課	在宅医療連携拠点事業	市・医師会・医療介護関係機関が連携することにより、適切に在宅医療や家族の希望に沿った最適なサービスが提供できる
医療福祉連携課	在宅医療連携拠点事業	地域包括ケアシステムが構築され、自分らしい人生がおくれるよう地域の包括的な支援・サービスの提供体制が整う。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	成果指標については、全国自治体病院の医師数平均値を下回らないよう医師数を成果指標とし、参考指標には経営の健全性を示す指標として経常収支比率と病床利用率を、医療機能の面から東備消防組合管内における救急搬送の受け入れ割合とした。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	事業構成は適当である。手段についても貢献度において効率性や採算性だけでなく、医療機能や住民福祉も考慮しており最適である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	病床利用率は全国平均を上回っているが、3病院とも当初の目標である入院・外来などの業務量に及ばない。経常収支比率においては日生・吉永病院が良好なものの、備前病院はわずかに目標に達していない。今後は原因を分析したうえで、更なる改善が必要である。	
進行年度 (H28年度) の取組内容 (課題解決状況)		3病院の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実及び老人保健施設のサービスの向上に取り組んでいる。	
翌年度 (H29年度) の取組目標		経営基盤の強化を図り、良質の地域医療を提供する。また、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしができるよう地域包括ケアシステムの確立を目指す。	
二次評価者コメント		病院事業が公営企業法の全部適用になって1年が経過したが、前年と比較して指標は4項目中3項目で改善した。特に経常収支率については病院事業全体で、合併後初めて100%を超え、経営改善の傾向が認められた。依然として病院事業を取り巻く環境は厳しいが、地域の人々が安心して暮らせるよう、時間外や救急患者を積極的に受け入れ、地域のニーズにあった医療を提供することにより、経営の健全化を図ることが求められている。	基本施策への 貢献度  <b>3 中立</b>
役職	備前市病院事業管理者		
氏名	荻野 健次		



備前市事務事業評価シート

(平成27年度事業)

事業の概要		平成17年度～		根拠法令・例規等	医療法 備前市病院事業の設置等に関する条例	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担 合 先 問 担 合 先 職・氏名 電話 このシート作成に要した時間	市立備前病院 事務部 庶務係長 藤澤昌紀 0869-64-3385 5.0 時間
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち		
	小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供		
事務事業名		01		備前病院事業		

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	病気の予防及び治療を必要とする人	
目的 (何のために)	安心・安全で良質な医療の提供	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	安心・安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し、患者数の増加を図り、経営基盤の強化を目指す。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	備前病院事業	入院診療、外来診療、健診事業を実施し、利用者の病気の治療及び予防に必要な医療を提供している。 また、入院中や在宅での不安、介護施設の利用などについての相談業務や地域連携事業を実施し、地域包括ケア実現と、利用者へのより良い医療サービスを提供できるように努めている。	◎
	右欄の評価の説明		
	妥当性の評価	備前地域における中核病院として、病院を改築し、高度医療機器も充実している。また、急性期を脱し、岡山市内等の大病院から転院する患者を受け入れる後方支援的役割も果たしており、在宅復帰を目的とした地域包括ケア病床を設置している。また、長期の療養が必要な患者を受け入れられるよう、一般病床の一部を療養病床に変換した。 毎月健康教室を開催して市民の健康を増進する活動にも取り組んでいる。	
	効率性の評価	人件費率が高いため、職員数に見合う収益を得られるよう努力する必要がある。 院内での業務改善等について毎月話し合い、患者満足度を高める取り組みを行っている。 地域医療構想を踏まえ、地域で必要となる機能を充実させることに力を集中する。	
有効性の評価	継続的に患者が来訪しており、市立病院が存在することの意義は大きい。 幹線道路や公共交通機関が近接しているため、立地的にも有効に作用している。 地域包括ケア病床や療養病床の特徴を発揮させられるよう、病連携、病診連携を強化している。		

事業費等	単位	平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績	
		人	円	人	円	人	円
事業費	千円	24,748	641,040	20,218	715,497	22,768	653,065
必要人員	人	115.40	908,455	114.50	881,979	115.70	865,206
事業費	千円	1,549,495	1,597,476	1,513	1,390	1,518,271	
国県補助金	千円	98,600	104,242	78,700	79,991	10,760	8,892
患者負担金	千円	1,438,282	1,404,129				
繰入金	千円						
長期前受金戻入	千円						
診療報酬	千円						
受益者負担比率	%						
結果指標名	単位	平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績	
延患者数	人	入院	外来	入院	外来	入院	外来
結果指標量	人	24,748	54,388	20,218	53,813	22,768	52,891
対前年比	%	93.9	99.3	81.7	98.9	112.6	98.3
活動コスト	円	807,555,000	535,806,000	794,863,000	521,847,000	807,882,000	494,269,000
単位当たりコスト	円	32,631	9,852	39,315	9,697	35,483	9,345

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値(A) 実績値(B) 達成率(B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		92.3%	92.5%	99.6%	到達目標値	
		92.3%	92.5%	99.6%	100.0%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
安定した病院経営には、収益を確保し、経費削減の努力を続ける必要がある。このため、経営状態を把握する上で、収益確保、経費削減、収支改善、経営の安定性等を反映している経常収支比率を選択した。 ※ 公営企業では100%以上が健全 計算式：経常収支比率(%) = 経常収益(医業+医業外収益) ÷ 経常費用(医業+医業外費用) × 100						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

進行年度(H28年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	地域包括ケア病床の病床数を増床し、収益向上を図るとともに、地域包括ケア構築に貢献する。経費削減できるものがないか更に点検を続ける。また、未収金の収納について、回収を推進できる体制づくりを行っていく。 地域医療構想を踏まえて新公立病院改革プランを策定し、改革計画を立て、実行していく。						

総合評価		総合評価
平成26年度の経営成績が悪かったため、職員間の経営に対する意識がより高まった結果、黒字転換には至らなかったが、最終的に赤字幅を減少させることができた。 慢性的な医師不足は続いており、常勤医師の獲得は困難な状況である。医師確保のため医局との連携を一層深める必要がある。 管理者のもと、安定した経営基盤を確保することが必要である。		C ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い い

平成29年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	国が推進する、医療、介護、福祉の連携強化に努め、地域包括ケアに貢献できる体制の確立を目指す。医師、看護師ほか各種医療職の確保に努め、施設基準を満たす人員を下回ることなく、地域医療構想に基づく自院の機能を全うできるように適正人員の配置を行い、収益を確実に上げていく。 地域包括ケアの一翼を担う存在として、市民に親しみと安心安全な医療を提供する。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、成果の指標にその数値目標を留意しな

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成17年度～	根拠法令・例規等	医療法 備前市病院事業の設置等に関する条例
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	問 担当課(室) 市立日生病院
	小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供	合 職・氏名 庶務係長・小野田一義 先 電 話 0869-72-1111
事務事業名		02	日生病院事業	このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的		対象(誰・何に対して)	病気の予防及び治療を必要とする人
目的(何のために)		安心・安全で良質な医療の提供	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		安心・安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し、患者数の増加を図り、経営基盤の強化を目指す。	

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
日生病院事業	入院診療、外来診療、健診事業等を実施し、利用者により良い医療サービスを提供する。	◎
右欄の評価の説明		
目的を達成するための実施した事業		
<p>&lt;妥当性評価&gt;</p> <p>○市民からの要望に対し各種委員会や実情調査とその対応について協議。結果を院内掲示等により回答し、対応可能なものは早期に改善するなど地域住民ニーズに応えるよう努めた。</p> <p>○医療圏全体では医師数、病床数とも不足はないとされているが、基幹病院はすべて岡山市内に集中している。また、周辺部では医師や看護師が不足し、医療機能は低下している感がある。このため、医療機関相互の機能分担と連携が必要。</p> <p>&lt;効率性評価&gt;</p> <p>○他病院の情報を広く収集し、薬品・診療材料等の材料費の削減と委託・賃借料の複数年契約の実施等により経費削減を行う。</p> <p>○医療サービスの向上、経営の健全・効率化、経営基盤の強化の観点から引き続き医療機関相互の連携と機能分担を推進し、医療提供体制の改善を図る必要がある。</p> <p>&lt;有効性評価&gt;</p> <p>○27年度決算については経常収支について黒字を確保することができ、留保資金についても昨年度に引き続き目標値5億円を確保していることから、引き続き安定経営が維持できるよう努力していく。</p>		

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績			
決算額	直接事業費	千円	612,426	642,288	621,775			
	必要人員件数		87.20人	85.30人	83.90人			
	事業費計	千円	1,214,430	1,278,078	1,260,476			
	国県補助金		416	1,244	253			
	患者負担金							
	繰入金	千円	104,683	116,704	115,359			
	長期前受金戻入			28,126	29,696			
その他(他の医療機関からの診療報酬)			11,369	8,421	10,212			
診療報酬			1,097,962	1,123,583	1,104,956			
受益者負担比率	%		-	-	-			
結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績			
結果指標	延患者数	説明	入院	外来	入院	外来	入院	外来
	結果指標量	人	24,110	55,119	25,224	52,721	23,407	51,054
	対前年比	%	94.8	103.6	104.6	95.6	92.8	96.8
	活動コスト	円	782,985,000	463,469,000	696,135,000	440,116,000	777,811,000	364,565,000
	単位当たりコスト	円	32,476	8,409	27,598	8,348	33,230	7,141

(平成27年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
決算における経常収支比率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	105.3	107.1	106.7	到達目標値
	達成率(B/A)	105.30%	107.10%	106.70%	毎年度
成果指標設定の考え方や説明					
<p>経常収益/経常費用×100</p> <p>※「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標①経常収支比率、②職員給与費比率、③病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすい①の経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで③を選択)</p>					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や昔や低いや通やいや 高 低 低 高		
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や昔や低いや通やいや 高 低 低 高		
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や昔や低いや通やいや 高 低 低 高		
	市民参画度		B		

進行年度(H28年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	地域住民のニーズに応じた適切なサービスを効率的に行えるよう、入院、外来部門の運営強化を推進する。特定検診・各種人間ドックなどの検診事業と予防接種・健康教室などの地域保健活動の拡充を図ることに、地域住民の健康増進に貢献できるよう努める。						

総合評価			
医療圏内の人口は減少傾向にあり、現状維持のままでは患者数の増加を今以上に見込むことは困難であることが予想される。安定経営を維持するためには、事業内容の分析と見直しを引き続き行い、経営の健全化に一層努めなければならない。	総合評価	B	
<p>ABCDE 高や昔や低いや通やいや 高 低 低 高</p>			

平成29年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	国が推進する、医療、介護、福祉の連携強化に努め、地域包括ケアに貢献できる体制の整備を検討する。今後とも安定した病院運営を行っていくため、引き続き事業の見直しと検診及び地域住民の医療ニーズへの対応を考慮しながら経営健全化に努めていく必要がある。						

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要		事業開始年度		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目	基本構想	04	平成17年度～	医療法、備前市病院事業の設置等に関する条例
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	問 担当課(室) 市立吉永病院 事務部
	小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供	合 職・氏名 庶務係長 武元真吾
事務事業名		03	吉永病院事業	電 話 0869-84-2120	このシート作成に要した時間 7.0 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	病気の予防及び治療を必要とする人
目 的 (何のために)	安心・安全で良質な医療の提供
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	安心・安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し、患者数の増加を図り、経営基盤の強化を目指す。

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
吉永病院事業	入院診療、外来診療、健診事業等を実施し、利用者により良い医療サービスを提供する。 [業務内容] 病院の医療安全管理・感染対策・経営改善のための各種委員会の開催 病院職員の労務・健康管理、病院施設の管理、病院運営の財務管理 法令・条例に沿った病院運営の庶務事務、未収金の回収業務、入院による診療サービスの提供 外来による診療サービスの提供、人間ドック、企業健診、住民健診による市民等の健康管理の提供 病院と病院・診療所・介護施設等と連携を図り医療サービスを提供 患者の不安や介護事業などの相談業務、各種法令に沿った申請、届出等と医療事務サービスの提供	◎
右欄の評価の説明		
<妥当性評価> ○吉永地域における中核病院として、病院を移転・新築し、高度医療機器も充実している。 ○本事業は地域住民の健康の維持・増進のため必要性が高く市民ニーズも高い。		
<効率性評価> ○引き続き組織目標を明確にして、業務改善と事務の効率化に積極的に取り組みたい。 ○28年度から価格交渉において実績がある選任職員を雇用予定、材料費等のコスト削減を目指す。		
<有効性評価> ○継続的に患者が来訪しており、市立病院が存在することの意義は大きい。 ○公共交通機関が近接しているため、立地的にも有効に作用している。		

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績			
決算額	事業直接事業費	千円	1,018,494	1,076,701	1,077,073			
	必要人員:人件費	千円	112.75人: 880,105	115.86人: 895,029	120.70人: 885,164			
	費事業費	千円	1,898,599	1,971,730	1,962,237			
	国 県 補 助 金	千円			3,630			
財源	患者負担金	千円			75,860			
	繰入金	千円	76,100	76,597	21,008			
	長期前受金戻入	千円						
	療 報 酬	千円	1,822,499	1,895,133	1,861,739			
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-				
結果指標名		単位	平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績	
結果指標	延患者数	説明	入院	外来	入院	外来	入院	外来
	結果指標量		17,013	100,971	16,853	98,532	16,810	95,882
	対前年比	%	93.9	99.3	99.1	97.6	99.7	97.3
	活動コスト	円	651,307,192	987,097,865	666,021,173	1,134,036,050	684,517,000	1,156,385,000
	単位当たりコスト	円	38,283	9,776	39,519	11,509	40,721	12,061

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	成果指標名	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
	目標値(A)		96	96	100	100
	実績値(B)		93.2	92.4	101.4	到達目標値
経常収支比率(%)	達成率(B/A)		97.08%	96.25%	101.40%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
安定した病院経営には、収益を確保し、経費節減の努力を続ける必要がある。このため、経営状態を把握する上で、収益確保、経費削減、収支改善、経営の安定性等を反映している経常収支比率を選択した。 計算式: 経常収支比率(%) = 経常収益(医業+医業外収益) ÷ 経常費用(医業+医業外費用) × 100						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ、<■へ、<■へ「コピー」して「貼り付け」してください >	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
市民参画度			B

進行年度 (H28年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	地域包括ケア病床を新設し、収益向上を図るとともに、地域包括ケア構築に貢献する。経費削減できるものがないか更に点検を続ける。また、未収金の収納について、収納を推進できる体制づくりを行っていく。 地域医療構想を踏まえて新公立病院改革プランを策定し、改革計画を立て、実行していく。						

総合評価	
平成27年度では、外来及び入院患者数とも減少したが、医業収益(特に外来収益)が増加し28,212千円の黒字となった。 医療圏内の人口は減少しており、更なる外来患者数の増加を見込むことは困難だが、在宅医療サービスに重点を置いた地域包括ケアシステムの構築を踏まえ、病院事業管理者の方針の下、市立3病院間での機能分化、連携を図っていく必要がある。	総合評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い

平成29年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	今後黒字経営を継続し質の高い医療サービスの安定的な提供に努めたい。 外来診療においては、各種健診事業等によって疾患の早期発見に努め、都市部の大病院で高度な治療を受けざるを得ない状態を未然防止するとともに、人工透析等の地域でも必要とされる医療に取り組む。 入院診療においては、都市部の大病院から高度急性期を脱した患者を受け入れ、通所リハビリテーションや訪問事業(診療・看護・リハビリ)の充実を図り、在宅復帰を推進する。						

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら

Check

Check

Action

Plan

Do

備前市事業事業評価シート

事業の概要		根拠法令・例規等	介護保険法
事業開始年度	平成9年度～		
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」
	中項目 基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち
	小項目 施策	24	地域に密着した医療サービスの提供
事務事業名	01	備前病院事業（老健外）	
担当課（室）	備前さつき苑 事務部		
職・氏名	庶務係長 直原吉洋		
電話	0869-63-9300		
このシート作成に要した時間	7.0 時間		

事業の目的		Plan
対象（誰・何に対して）	介護保険法に定めるところにより、要介護認定され、介護サービスを希望される方	
目的（何のために）	利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるようにする。在宅療養者の家庭における療養生活を支援する。	
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	入所者・利用者が可能な限り、自立した日常生活を営むことができるようにする。在宅療養者の心身の機能の維持回復を図る。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
病院事業（老健外）	計画に基づき、食事・医療・看護・機能訓練等のサービスを行う	◎	
右欄の評価の説明	適切な評価		家族・要介護者の介護負担軽減のため、必要とされるサービスを提供している。
効率性の評価	人件費率が高いため、収益向上によって人件費率を下げる必要がある。		
有効性の評価	介護負担軽減・要介護者の自立のため、当施設がこの地に存在することの意義は大きい。		
3条費用のみ（人件費除く、4条入れない）	決算数値（税抜）の、医療費用+医療外費用+特別損失-給与費		
年度末職員常勤換算数	給与費決算額（税抜）		
決算統計27表1行58列			

事業費等	単位	平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績	
		入所	通所	入所	通所	入所	通所
直接事業費	千円	144,491		144,923		145,244	
必要人員人件費	千円	47.93人	251,743	46.93人	255,092	48.44人	256,812
事業費	千円	396,234		400,015		402,056	
国県補助金	千円						
患者負担金	千円						
繰入金	千円		13,625		12,785		11,916
長期前受金戻入	千円						
その他（その他の医療外収入）	千円		1,551		1,301		1,226
診療報酬	千円		381,058		385,929		388,914
受益者負担比率	%		-		-		-
結果指標名	単位	平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績	
延患者数	人	28,523	5,196	28,454	5,438	28,071	5,373
結果指標量	対前年比	103.9	103.5	99.8	104.7	98.7	98.8
活動コスト	円	316,729,118	52,085,296	317,724,641	55,545,583	309,978,752	54,496,141
単位当たりコスト	円	11,104	10,024	11,166	10,214	11,043	10,143

事業の意図する成果となつる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成27年度事業)

事業の成果	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値 (A)	100	100	100	100
	実績値 (B)	101.83	101.14	101.28	到達目標値
	達成率 (B/A)	101.83%	101.14%	101.28%	100
成果指標設定の考え方・式や説明					
安定した病院経営には、収益を確保し続ける必要がある。このため、経営状態を把握する上でわかりやすい経常収支比率を選択した。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C	

事業の目的やその数値目標に留意しな

進行年度（H28年度）の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	入所者の入院等空きの状態になっている部屋へ短期入所者の利用を積極的に進めることにより、施設の有効利用を図る。地域サービスの向上を図りながら、単位当たりコストの削減に努める。						

総合評価		総合評価
少子高齢化に伴い、介護の必要性は今後ますます増大していくと思われる。そうした中、利用者により一層安心して利用してもらえるよう、サービスの充実を図ると共に、利用者の自立を促し、家族の負担を軽減できるよう、更なる努力が必要である。 また、入所待機者・利用者の減少が続いており、施設の有効利用のためにも空室等の削減方法等について検討していく必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		B

平成29年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	在宅復帰を目的とする施設本来の姿を考慮したうえで現状に即した受入環境を整備し、効率的な入退所管理を図ることで安定した収益の確保、施設・人材の有効利用を図る。地域サービスの向上を図りながら、単位当たりコストの削減に努める。						

Action